

ピアホームだより

2015. 7. 10

激動の6月

6月にピアホームⅡでは受給期間満了の方が2人いたこと、ピアホームⅠ、Ⅱともに利用者の入院があり、結果退所となった方が出たこと等が重なって、てんてこ舞いの月となりました。

ピアホームⅠの状況

Mさん入院から退所へ

1月末日より入院となっていましたMさんのカンファが6月3日 慈雲堂病院にて行われました。主治医から、今回のグループホームへの地域移行は、負担が大きかったので、一旦退所し、再度挑戦一との提案がされました。

病気や長い入院生活から来る日常生活能力の低下をもう少し徐々につける環境が望まれたようです。一番悔しい思いは本人ですが、諦めることなく再起してほしいものです。

HさんⅠからⅡへ

サンライズより来た方で、重い症状にもかかわらず自分の関係書類はしっかり管理されています。

天涯孤独となっており、病状も重いことから一般アパートが難しいと考えられ、検討の結果、最終的にピアホームⅡへの横滑り?となりました。住まいの跡には、後始末があり、今後、アパートに出るまでの課題として克服して行きましょう。

Hさん新入居

吉祥寺病院から、外泊のトライアルを2回経験し、19日入居、20日引越してきました。23日には、日中活動の場であるサンライズと契約、通帳づくり、筋注を打ちに行ったりと慌ただしく過ごしました。

29日、新しい病院愛誠病院を受診、7月1日には訪問看護がスタートし体制が整いました。この間、サンライズには行けていませんので、7日より日中活動のスタートです。

ピアホームⅡの状況

Nさん入院

落ち込みがひどいことから、もう少しお薬の調整を訴えていたNさん、リーマスの減量がされていてそう転しそうになりました。

それ以前に、主治医にお薬の調整を考えてもらおうとカンファの設定がされていましたが、全く逆の状況が生じ、薬剤の再調整がされました。その後、薬剤が強すぎたかテグレートールの影響か?腰が抜けてしまい緊急入院。全体の調整を行うことになっています。

30日、病院訪問、主治医・ワーカー・奥さんとお話し、今後の方向を確認しました。落ち着きを取り戻して来ています。

Nさん満期退所

江東区の認定を受けていたNさんは受給期間が2年と短かかったのですが、本人もアパート暮らしが可能とのことで、皆より少し早い卒業となりました。

江東区で認定を受け、板橋区から保護費を受ける変則でしたので、卒業に至る手続きで若干手ばかりが出て、本人の思いが完全に達成されなかったかも知れません。

アパート探し大変でしたが、しっかりご自分で見つけました。新しい一歩になることを祈ります。

今後のスケジュール

<7月8日>入居希望者面接

<7月24日>町田勉強会講師